

質 疑 一 般 質 問



橋本一実 議員
はしもとかずみ

熱海市民クラブ

- ◆ 所属委員会 ◆
- 観光建設公営企業委員会 (副委員長)
- 広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

- 住居確保給付金事業について
- 特殊詐欺の防止に努めることについて
- 青少年の関与の短時間大会の花火大会の開催について

給付金や協力金の申請手続きがうまくできない方のサポートについて／メディア戦略・プロモーションの再稼働について

質問 給付金や協力金については、市民からすると申請のハードルが高く、問い合わせ先がいくつもあると分かりにくい。一元化できる総合窓口が必要ではないか。

答弁 検討したが、職員の確保や密の回避、周知方法等の問題点から各担当窓口で個別対応とすることとした。各窓口での個別対応は、その人にあった丁寧な対応ができ、あわせて分かりやすい案内マニュアルの随時の増補等

で、きめ細やかなサポートをしていく。

質問 メディア戦略・プロモーションの再稼働の期待は大きい。取組強化について伺う。

答弁 都道府県間の移動抑制が解除され、国による大型観光キャンペーン「※GOTOキャンペーン」の準備が始まるなか、今後全国の観光地は一斉に競争状態になる。その中で、本市を選んでいただけるようメディアアプローチは重要だと考える。3月以降、

ロケ支援についても自粛しているが、徐々に制作側からの問い合わせも入ってきている。

受け入れ側としても感染防止対策を講じて対応する。また、「※新しい生活様式」への行動変容を意識した誘客プロモーションについて、7月以降のリリースに向け準備も進めているところ。再び本市が多くなるよう取り組んでいく。

ブルネイ王国とのホストタウン計画の進捗状況について ふるさと納税を視野に入れた「ご当地アニメ制作」について



村山憲三 議員
むらやまけんぞう

熱海市政調査会

- ◆ 所属委員会 ◆
- 観光建設公営企業委員会
- 公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 起雲閣への外資系ホテル誘致の進捗状況について

質問 ブルネイとのホストタウン合意を基に「和のハラル食」を創作し、「食の国際健康宣言都市・熱海」構想を立ち上げ、イスラム教国からの新たなインバウンド戦略も可能だと思

うが、本市の考えは。

答弁 「※新しい生活様式」への変革を求められる状況のもと、改めて熱海観光のブランドを構築していくうえで「食」「健康」「国際」というキーワードは極めて重要。今後、ホストタウンを仲立ちいただいた経済産業省クールジャパン政策課とも相談しながらホストタウンをきっかけとした交流やイスラム教国からのインバウンド戦略について検討していく。

質問 ふるさと納税を視野に入れた「ご当地アニメ制作」プランを

実践するにあたり、本市は熱海国際映画祭の失敗を念頭にどこまで協力できるのか。

答弁 昨今「アニメ」と「歴史などの様々なコンテンツ」を結びつけた地域活性化施策が一つのトレンドになっていることは承知している。ご当地アニメの事例として、ウェブコミック作品から国外でもヒットしている「邪神ちゃんドロップキック」とコラボしたふるさと納税で成功している自治体があるということ、まずはその仕組み、可能性について学んでいきたいと考えている。

※ 表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。